

# 台風第7号に係る鳥取県・鳥取市 災害対策本部 合同会議

【日 時】令和5年8月15日(火) 午後7時～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者（予定）】知事、副知事、統轄監、関係部局

鳥取市長

関係機関、鳥取地方気象台

\* 市町村、消防局、自衛隊、各総合事務所等には映像配信

## 【次第】

- 1 被害状況等
- 2 鳥取市への支援
- 3 最新の気象状況及び今後の予測等

1

## 大雨の影響

16:40 大雨特別警報（浸水害） 発表 [対象 鳥取市（南部、北部）]

- 県内では、土砂災害警戒情報が9地区に発表されている
- 県内では、連続雨量が500ミリ近い地点があるなど、15日未明からまとまった雨量となっている
- 鳥取市では市内全域に「緊急安全確保」を発出（16:40）

2

## 被害状況等

現在のところ、人的被害・住家被害はない

- 県内各地で、土砂災害、道路冠水などが発生（詳細確認中）
- ・明辺で、住家裏の土砂崩れ（人的被害なし）
- ・私都川で氾濫発生。「緊急安全確保」を発出

<緊急放流の状況>

- 佐治川ダムは緊急放流を実施。
- ・緊急放流に伴い、「緊急安全確保」を発出

3

## 支援の手続きなど

- 他県の支援など
- ・岡山県から2名を連絡員として派遣予定（明日7時出発予定）
  
- 災害救助法
- ・鳥取市に適用（本日18:30）
  
- 自衛隊災害派遣
- ・派遣については検討中
  
- 帰宅困難者の対策

4

# 鳥取市への支援

## <鳥取市への支援>

- ・人的支援
- ・物的支援
- ・財政的支援

# 鳥取県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

# 鳥取県に大雨特別警報発表

- 16時40分に大雨特別警報（浸水害）、17時20分に大雨特別警報（土砂災害）を発表。
- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

## 鳥取県に大雨特別警報発表(詳細)

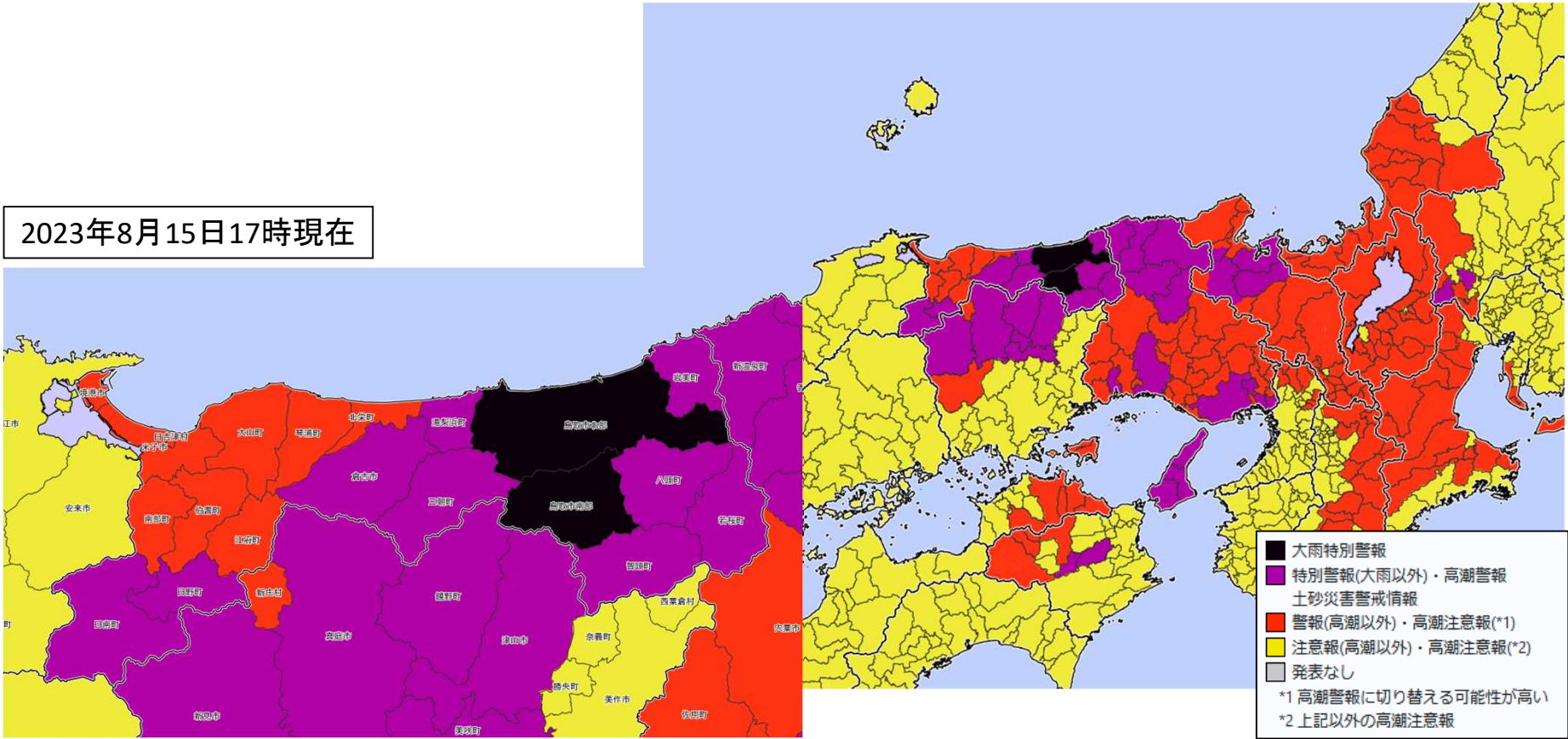
- 鳥取市北部、南部に大雨特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。

※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。

- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町村にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- 地元気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

# 特別警報・警報の発表状況

2023年8月15日17時現在

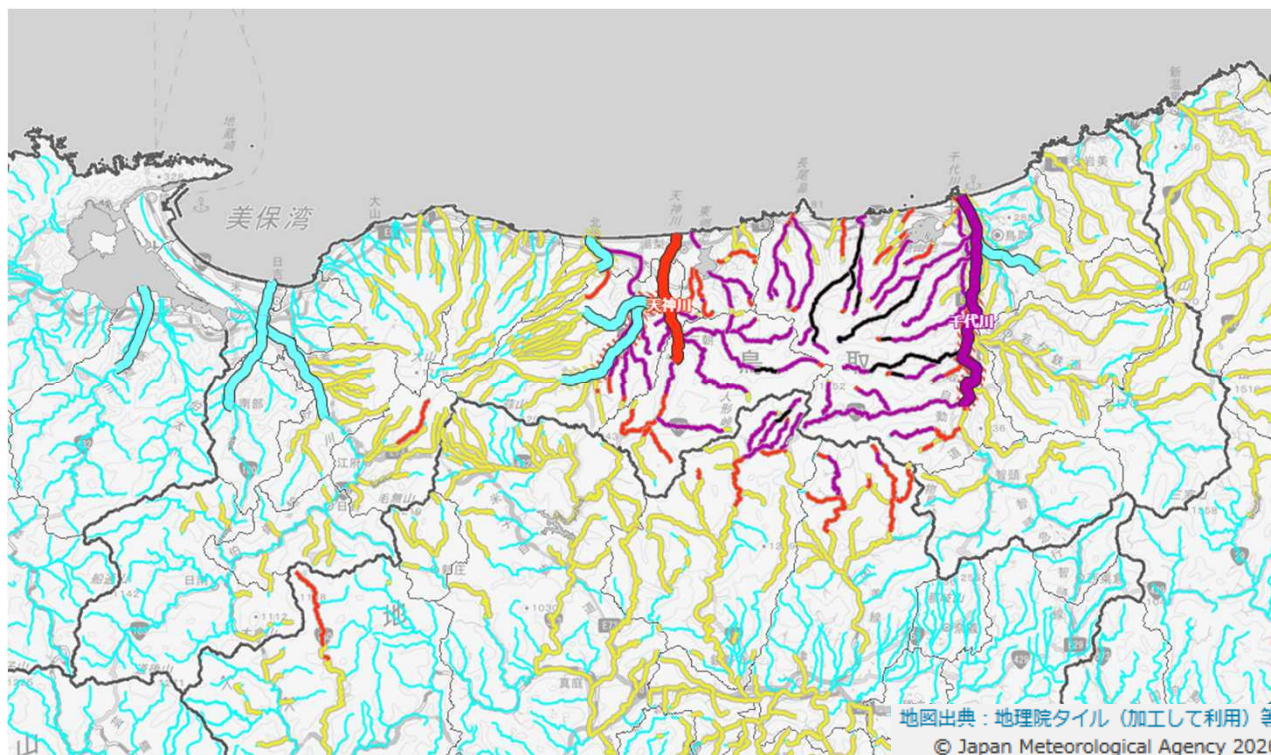


**特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。**

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

# キキクル(危険度分布)

洪水害 2023年08月15日17時20分



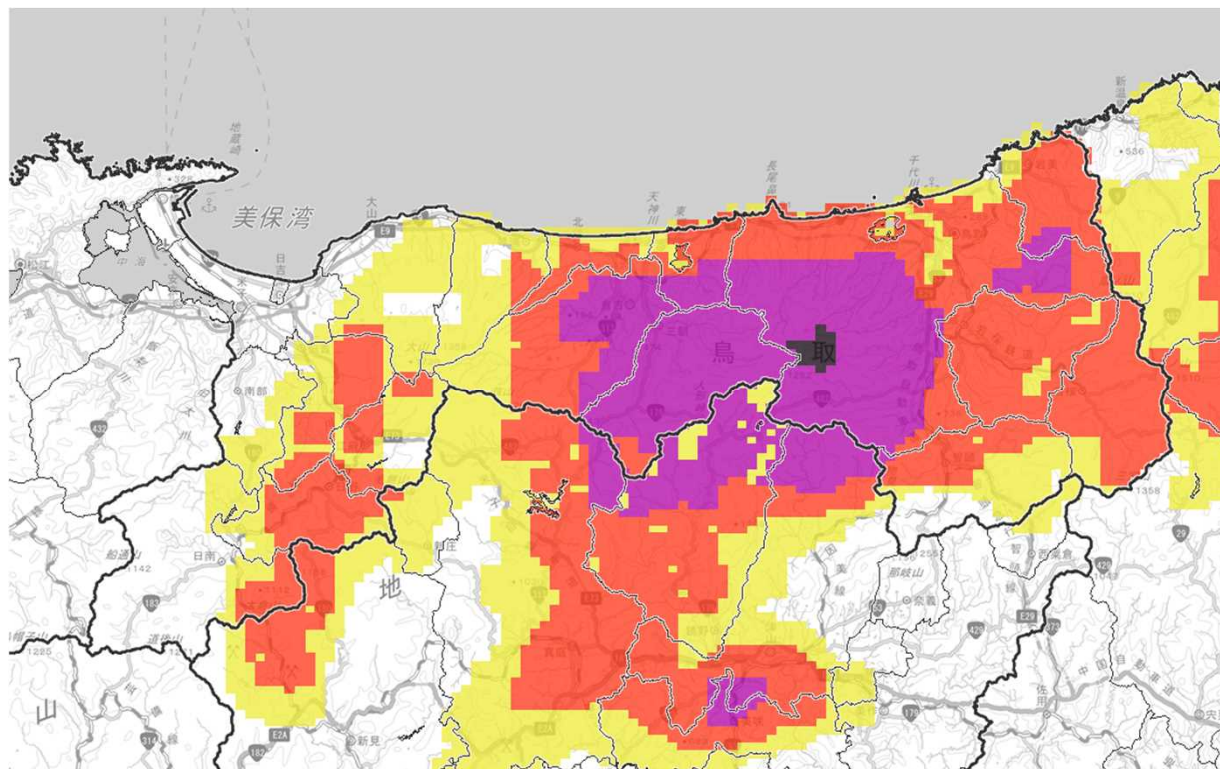
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布)：<https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)



# キキクル(危険度分布)

土砂災害 2023年08月15日17時20分



土砂災害の危険度

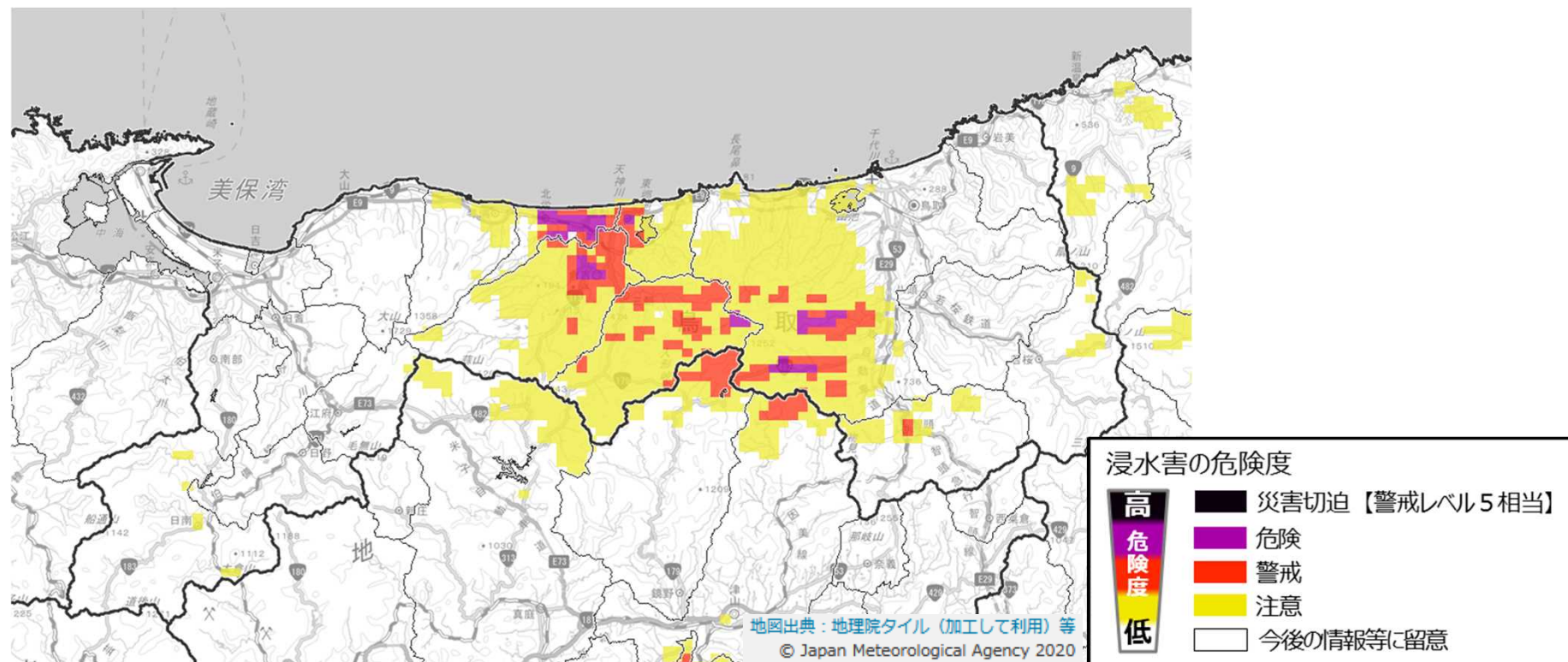
高	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	危険	【警戒レベル4相当】
低	警戒	【警戒レベル3相当】
	注意	【警戒レベル2相当】
		今後の情報等に留意

- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

# キキクル(危険度分布)

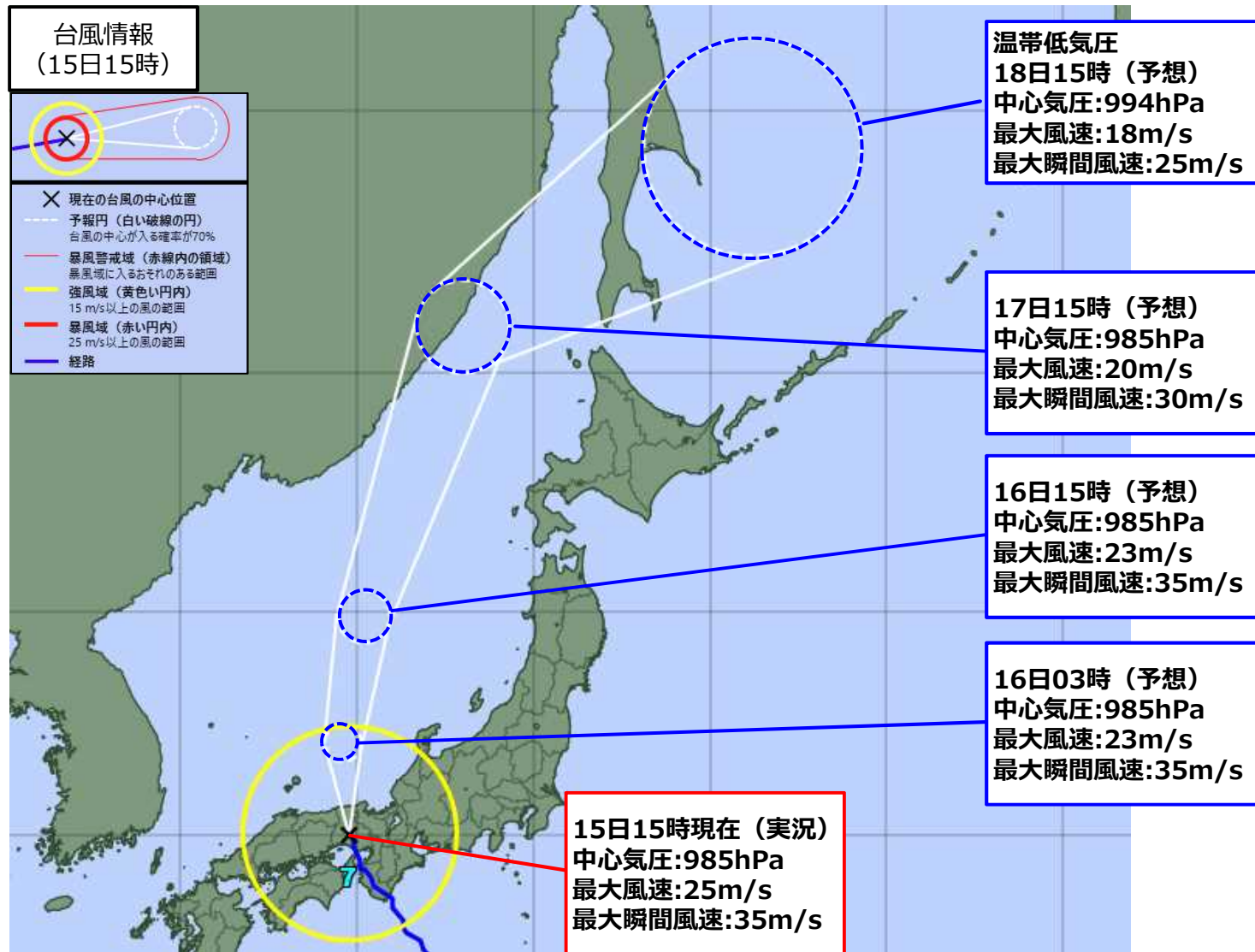
浸水害 2023年08月15日17時20分



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布)：<https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

# 台風の見通し



今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(台風情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

# 防災時系列

		15日			16日								
		15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
		夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
台風最接近		◎	◎										
大雨の早期注意情報		高	高	高	高	高	中	中					
暴風の早期注意情報		高	高										
波浪の早期注意情報		中	中										
大雨(浸水) (R1)	東部	50	50	50	25	25	10	0	5	5	0	0	
	中・西部	50	50	50	25	25	10	5	1	5	0	0	
大雨 (土砂)	東部	特	特	特	特	特	注	注					
	中・西部	警	警	警	警	警	注	注					
洪水	東部	警	警	警	注	注							
	中・西部	警	警	警	注	注							
風 (メートル)	東部	陸上	20 ↘	20 →	15 →	13 ↑	12 ↑	12 ↑	10 ↑	8 ⇨	6 ⇩	3 ⇨	3 ⇨
		海上	25 ↓	25 ↓	20 →	18 →	15 ↗	15 ↗	12 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	8 ⇨	6 ↗
	中・西部	陸上	20 ↘	20 →	15 →	13 ↗	12 ↗	12 ↗	10 ↑	8 ⇨	8 ⇨	6 ⇨	5 ↑
		海上	25 ↓	25 ↓	20 ↘	18 →	15 →	15 →	12 ⇨	10 ⇨	10 ⇨	8 ⇨	6 ↗
波浪 (メートル)	東部	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2.5	2	
	中・西部	5	5	4	4	4	3	3	3	3	2.5	2	
雷	東部	注	注	注	注	注							
	中・西部	注	注	注	注	注							
高潮 (メートル)	東部	0.8	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	0.5	
	中・西部	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	

■ 特別警報級
 ■ 警報級
 ■ 注意報級

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

# (参考) 大雨による災害の留意事項①

## 大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう  
**土砂災害が発生!**

崖崩れや土石流の発生を確認して  
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子  
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子  
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害  
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、  
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

**安全に避難できる早い段階で避難開始を判断**することが重要!

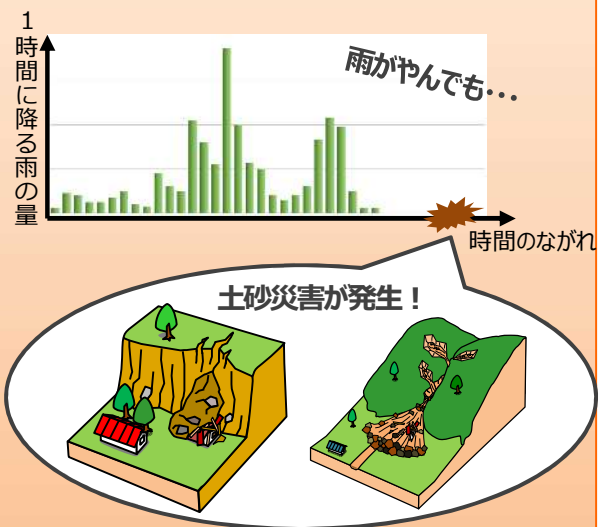


## (参考) 大雨による災害の留意事項②

### 大雨がやんでも…

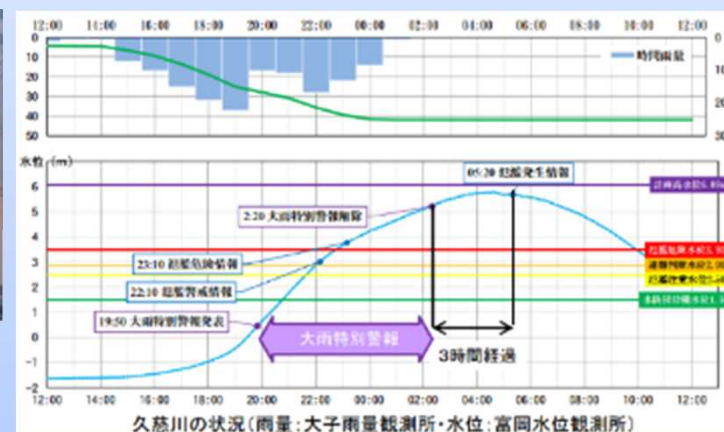
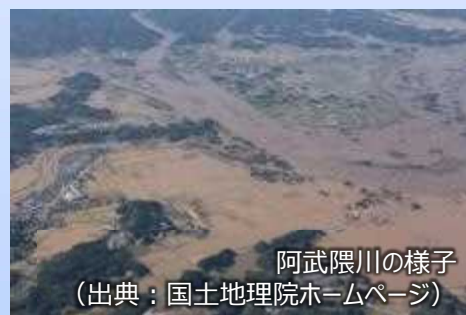
#### 土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



#### 油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

**自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！**

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



## (参考) 大雨特別警報とは

### 位置づけ・役割

#### <位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

#### <役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所から まだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

# (参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象庁等の情報			市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
大雨 特別警報	キキクル 災害切迫	氾濫 発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
土砂災害 警戒情報	危険	氾濫 危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
※ 大雨警報 洪水警報	警戒	氾濫 警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨警報に 切り替える 可能性が高い 注意報	注意	氾濫 注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨注意報 洪水注意報			第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1
早期注意情報 (警報級の可能性)			<ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul>		

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成



## (参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。  
([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame\\_push.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html))。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。